

西東京市第4次男女平等参画推進計画・西東京市第2次配偶者暴力対策基本計画
・西東京市女性の職業生活における活躍推進計画の評価方法について

1 目的

西東京市第4次男女平等参画推進計画・西東京市第2次配偶者暴力対策基本計画・西東京市女性の職業生活における活躍推進計画の目的である、『西東京市が行う男女平等参画施策の基本方針を示すと同時に、男女平等参画社会実現のための直接的、間接的な取り組みを体系化し取りまとめ、その施策を推進すること』を達成するため、評価方法を定める。

2 根拠

○第1章 4計画の性格・位置づけの(8)『市民参加のもと策定後の取り組みの実施・点検・評価を行い、実効性の確保に努めていきます。』

○IV-3-(1)②『西東京市男女平等参画推進委員会において、西東京市男女平等参画推進計画に掲げた事業評価を毎年度実施します。』

3 評価方法

ア 方向性

第4次計画は、第1次計画～第3次計画の基本理念『一人ひとりが自分らしく自立しいきいきと個性と能力を発揮できる社会をめざす』を**引き継いだ**。また、計画の体系においてもカテゴリの名称や分類に多少の変更はあったものの、概ね引き継いでいることから、評価方法については、第3次計画の評価方法を基にしたい。

【選択肢】

- ① 上記提案通りでよい。
- ② まったく新しい評価方法を検討する。

イ カテゴリ別項目数

	第4次計画	第3次計画
基本目標(領域)	4	4
課題(方向性)	16	18
施策	46	49
事業(取り組み)	110	120
課別事業(取り組み)	216	226

※ () は第3次計画のカテゴリ名 ※課別事業(取り組み)は関係各課は除く
ウ 担当課の業務

担当課は、第3次計画で実施していた「具体的な事業又は取り組み計画」、「執行状況・事業計画」、「次年度の課題」及び担当課評価(A~D)を行う。

エ 男女平等参画推進委員会の業務

男女平等参画推進委員会の業務は、第3次計画で実施していた男女平等参画推進委員会事業評価として、事業単位ではなく施策単位で評価し(評価【A~D】とコメント)(※)、基本目標ごとの評価及び報告書の総評(第3次計画では「はじめに」、「これからの課題」)、重点課題ごとの評価(コメント)を行う。

※ 課題解決をするための施策全体が前進しているか確認するため。

【選択肢】

- ① 上記提案通りでよい。
- ② 事業毎の評価とし、第3次計画と同様にする。
- ③ その他

オ 担当課評価基準

第3次計画の評価基準は、前委員会で定めたものなので、その基準を継続したい。

評価	評価基準
a	事業・取り組み計画が施策の内容に合致し、着実に執行され、課題が明らかになっているもの。
b	事業・取り組み計画や執行状況、課題のいずれかに改善の余地があるもの。
c	事業・取り組み計画や執行状況、課題のいずれも不十分なもの。
d	未実施のもの、または、空欄のもの。

【選択肢】

- ① 上記提案通りでよい。
- ② 評価基準のみ見直す。
- ③ 評価段階数(現在4段階)及び評価基準を見直す。
- ④ その他

カ 男女平等参画推進委員会施策評価基準

複数の事業をまとめて評価するため、抽象的な基準で評価したい。

評価	評価基準
A	課題解決に十分である。
B	課題解決に概ね十分である。
C	課題解決に改善が必要である。
D	課題解決に不十分である。

【選択肢】

- ① 上記提案通りでよい。
- ② 評価基準のみ見直す。
- ③ 評価段階数（現在4段階）及び評価基準を見直す。
- ④ その他

キ 数値化

評価は、A～Dで行うが、Aを4点、Bを3点、Cを2点、Dを1点と換算して合計し、合計した施策数で割る（4点満点、小数点第2未満切捨て）ことにより、そのカテゴリの評価が同一基準で比較できるようになる。算出カテゴリは、全体・基本目標・課題としたい。（男女平等参画推進委員会の評価を使用する。）

【選択肢】

- ① 上記提案通りでよい。
- ② 必要ない。
- ③ その他

ク 指標と目標値

指標と目標値について、資料として掲載したい。

指標においては、15あるうち6つの指標（Ⅰ-5、Ⅱ-1、Ⅱ-3、Ⅲ-4、Ⅳ-1、Ⅳ-3）のみ毎年数値を確認できるが、その他のものは、令和4年度（予定）の市民意識・実態調査まで確認できないので、6つの指標のみ毎年進捗状況を確認する。







【選択肢】

- ① 上記提案通りでよい。
- ② 必要ない。
- ③ その他

4 第4次計画の評価年度について

第1次～第3次計画は、計画期間の最終年度に5カ年の総評価を実施してきたところであるが、実務上の時系列としては、計画の最終年度の報告書をまとめている時期には、新たな計画の期間が始まっているところである。

第4次計画を第5次計画に引き継ぐにあたり、第5次計画の策定スケジュールに合わせたまとめが必要である。

	H31	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
計画期間	第4次 					第5次 
第5次計画				市民意識 調査	計画策定	
委員任期						
評価年度	H30 評価	H31 評価	R 2 評価	R 3 評価	R 4 評価	R 5 評価

※評価は計画に記載されているので毎年行う。

※R 4にR 3の評価と共に、(第5次計画に向けて) 中間のまとめを実施する。

※各課の対応は5年間同じ。また、R 4評価は今までどおり。

※R 5評価は細かい事業評価や施策評価(どのカテゴリで評価するかはこれから決定)は行わず、基本目標ごとの評価のみ実施する。また、各委員に5年間のまとめの指摘を箇条書き程度で書いてもらう。

【選択肢】

- ① 上記提案通りでよい。
- ② 中間のまとめを実施し、その他は第3次計画と同様にする。
- ③ その他